

米農務省(USDA)クロープリポート

(7/9発表)

フジフューチャーズ株式会社(情報企画課)

22年7月13日(火)

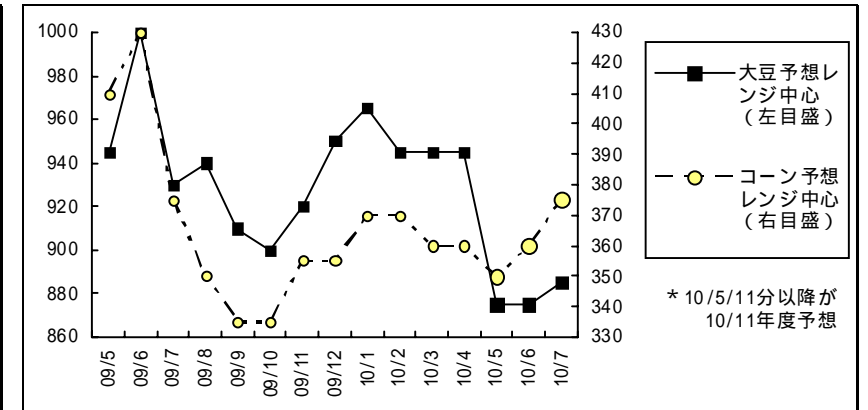
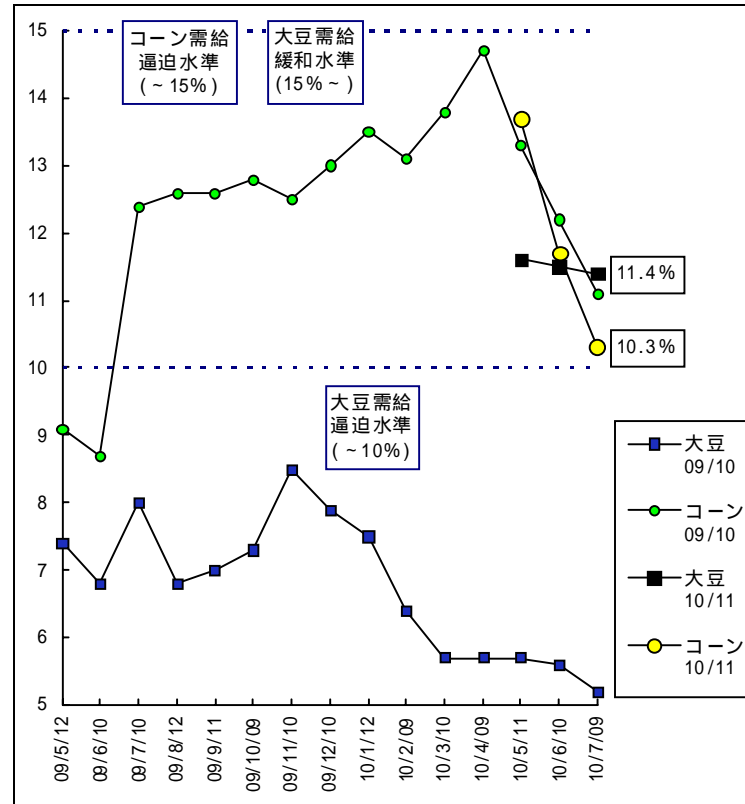
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11年度		09/10年度	
	7/9	6/10	7/9	6/10
総供給	3530	3505	3512	3512
期初在庫	175	185	138	138
生産	3345	3310	3359	3359
単収(bu/I-カー)	42.9	42.9	44.0	44.0
総需要	3170	3144	3338	3328
国内	1800	1794	1878	1873
輸出	1370	1350	1460	1455
期末在庫	360	360	175	185
期末在庫率	11.4%	11.5%	5.2%	5.6%
農家平均価格	810-960	800-950	955	950

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11年度		09/10年度	
	7/9	6/10	7/9	6/10
総供給	14733	14983	14793	14793
期初在庫	1478	1603	1673	1673
生産	13245	13370	13110	13110
単収(bu/I-カー)	163.5	163.5	164.7	164.7
総需要	13360	13410	13315	13190
国内	11410	11410	11365	11240
輸出	1950	2000	1950	1950
期末在庫	1373	1573	1478	1603
期末在庫率	10.3%	11.7%	11.1%	12.2%
農家平均価格	345-405	330-390	350-360	345-365

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

10/11年度の期末在庫率予想は

大豆 [11.4%] = 適正水準 米国内の需給予想(10/11年度分)は、前回から「期初在庫0.10億 bu 減(前年度の需要を上方修正)、生産高0.35億 bu 増(作付・収穫面積予想を上方修正[6/30発表])」に対して「国内消費0.06億 bu 増、輸出0.20億 bu 増」となり、期末在庫は変わらず・同在庫率0.1ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は10セント引き上げられた。世界全体の期末在庫予想は上方修正。主要国では、中国の期末在庫予想が上方

修正(需要予想は上方修正も、前年度の輸入増加により期初在庫が増加)。

コーン [10.3%] = 需給逼迫水準 米国内の需給予想(10/11年度分)は、前回から「期初在庫1.25億 bu 減(前年度の需要を上方修正)、生産高1.25億 bu 減(作付・収穫面積予想を上方修正[6/30発表])」に対して「輸出0.50億 bu 減」となり、期末在庫2.00億 bu 減・同在庫率1.4ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は15セント引き上げられた。世界全体の期末在庫予想も下方修正。主要国の需給予想に目立つ修正は無かった。

今回の発表内容は、「いずれも事前予想の範囲内」。コーンについては、「6/30作付面積報告が新穀の供給面、同日発表の6/1現在全米在庫が旧穀の需要面でそれぞれ強気サプライズとなった」ことから先に買い進まれており(大豆はつれ高)、この7月需給報告は「相場には織り込み済み、あるいは一部強気派の期待をやや下回る程度」に強気な方向への修正。なお、最近の主な相場材料は、米産地の天候や中国の大豆輸入動向。